

皆様、こんにちは。先日、大阪府における「大人数での飲み会自粛規制」が解除され、Go To Eatキャンペーンも開始されたことで、飲み会の機会が増えた方も多いのではないのでしょうか。私も飲食業界の業績回復のため、このような制度の利用には大賛成なのですが、飲み会に参加する大前提として、3密を避ける、こまめに手洗い・消毒を行う等、これまでどおりの注意が必要なことは忘れてはいけません。ちなみに、我が家では事前申請なしの飲み会参加には罰金制度が適用されるため、急なお誘いにホイホイ乗ってはいけません。

さて、本題に入りたいと思いますが、皆様は家事というと何を思い浮かべられますか？また、家事をしっかりパートナーと分担してできている、と自信のある方はどれほどいらっしゃるのでしょうか。家事と聞いてパッと思いつくのは、掃除、洗濯、料理、それからゴミ捨てあたりですよね。また、子育ては厳密には家事には含まれないかもしれませんが、家庭における一つの仕事という意味で、ここでは家事に含めて考えてみましょう。ここまでお読み頂き、「うちは奥さんと家事を分担してできているので、全く問題なし！」という自信満々のそこのあなた。今回はそんなあなたのための記

事でございます。

ところで、この世の中には掃除、洗濯等のいわゆる「名のある家事」の他に、従来の家事の定義には当てはまらないようなささいな作業ではあるものの、家庭内で日々確実に発生し、家の誰か（主に妻）の手を煩わせる、そんな作業が存在します。例えば、「丸めて脱ぎ捨てられた靴下を洗濯する時に元に戻す作業」や「ゴミ箱へゴミ袋をセットする作業」など、例を挙げればキリがありません。このような細かい作業は、最近では「名もなき家事」と呼ばれ、注目されています。

ダイバーシティ推進委員会企画記事 「子育てパパ会計士の日常」第5回 名もなき家事

ダイバーシティ推進委員会 副委員長 竹中 陽介

大和ハウス工業（株）が実施した意識調査によると、共働きの夫婦に家事負担割合を尋ねたところ、夫の回答は「夫3割、妻7割」がトップだったのに対し、妻の回答は「夫1割、妻9割」がトップだったとのこと。この調査結果より、妻が思っているよりも「自分は家事をやっている」と思っている夫が多く、夫婦間に大きな意識の差があることがわかります。この意識の差こそ、「名もなき家事」の分担漏れによるものなのです。

他にも「名もなき家事」の例を挙げてみましょう。自分が認識していなかった、もしくは今まで全くやっていなかった、というものは、自分以外の誰かがやってくれているということをお忘れなく。

【掃除・ゴミ捨て関連】

- 排水溝の髪の毛取り
- エアコン、換気扇等のフィルター掃除
- 掃除機にたまったゴミの除去

【生活関連】

- シャンプー・洗剤・ハンドソープなどの補充・詰め替え
- 加湿器や冷蔵庫の製氷機の定期的な洗浄と水の補給
- 出しっぱなしの備品の片づけ（爪切り、綿棒等）
- トイレや風呂場の電気を消す
- 靴をそろえる、下駄箱に片づける

【洗濯関連】

- 重なって脱いだ洗濯ものをバラバラに直す

- 脱ぎ散らかした上着をクローゼットにしまう
- 部屋干し時の物干しスタンドの出し入れ
- ハンガーの片づけ
- ポケットにティッシュ入れっぱなしで洗濯してしまった際の後片付け

【料理、買い物関連】

- 献立のアイデア出し
- ダイニングテーブルの片づけ・テーブル拭き
- ピンやペットボトルのラベル取り
- 洗い終わった食器を食器棚へ片づけ

【育児関連】

- おもちゃの片づけ
- 寝かしつけ
- 娘の髪乾かし・髪とかし
- 子供の宿題チェック・習い事の監督
- 学校配布物チェック・記入提出・先生にちゃんと提出するよう子供に念押しする

皆さん、いかがでしたか？これらすべてを認識し、家族で分担できている、という方はごくわずかだった

のではないのでしょうか。「名もなき家事」については例を挙げだすとキリがなく、ここに書ききれなかったものもたくさんあるので、興味のある方はぜひ調べてみてください。

さて、このような「名もなき家事」が夫婦間の軋轢（主に奥さんのイライラ）の原因となるケースが多いようなのですが、これを解決するにはどうすればよいのでしょうか。これはあくまで筆者の見解ですが、「なるべく減らすこと」と「みんなで認識し、分担すること」が答えなのではないかと思います。

お気づきの方もいらっしゃると思いますが、これらは「生活上、どうしてもやらなくてはいけないもの」と「家族の誰かが怠けたことで生じたもの」に大きく二分できます。後者については、個人が気を付けることで減らすことができますので、まずは家族全員が「自分のことは自分でする」ことを意識し、余計な手間をなくすことが重要です。

また、誰にも知られていない作業を黙々とやらされるのはやはりストレスですので、まずは家事の分担に

ついて家族と話し合いの場を設け、細かい作業も含めて洗い出し、家族みんなで家事に参加できるように分担を見直してみるのもいいかもしれません。

ここまで偉そうなことを書き連ねてきましたが、筆者自身も今回「名もなき家事」について調べてみて、改めて妻にいろいろ甘えているなあと反省しております。ただ、知っているのと知らないのとでは大違いですので、この記事をお読みになり少しでも気付きのあった方は、まずは「名もなき家事」の存在についてパートナーと共有することから始めてみてはいかがでしょうか。

長くなりましたので、「家事の分担のコツ」については、また別の機会に触れてみたいと思います。ここまでお読みいただきありがとうございます。

出典：大和ハウス工業（株）HP
「家事シェアハウス」

<https://www.daiwahouse.co.jp/jutaku/lifestyle/kajishare/index.html>

